

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	四国森林管理局総務部	連絡先	088-821-2010
所管する業務の概要	森林管理局の所掌事務に関する総合調整、国有林野事業に関する政策の企画及び立案、職員の任免・分限及び懲戒・服务等、広報及び研修、職員の給与・福利厚生・安全衛生・共済組合等、庁舎管理、物品及び役務の調達、会計・経理事務等、香川県内の国有林野の管理経営		

1. 基本的な心構え・行動			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 接遇マニュアルについて職員への周知を図るとともに、全職員に接遇研修を行い、来庁者、電話による問い合わせ等に対して親切・丁寧な対応がなされるようマニュアルの実践に努めている。 ・ 外部からの情報提供や苦情等については、ワンストップで対応できるよう、対応窓口を一本化している。		・ 職員全員の接遇レベルが「相手に失礼無く好感を抱かせるレベル」にまで至っているとは言えない。引き続き、接遇マニュアルの実践に取り組む。また、マニュアル通りの対応に加え、個々の状況に応じた工夫も必要である。 ・ より理解を深めて頂くために、先方の立場や案件の理解度に応じて、説明方法や内容を工夫する。	
・ 重要な緊急情報は、局幹部や林野庁へ速やかに伝達する方法がルール化されている。緊急時の対応が円滑に行えるようこうしたルールについて職員間で再確認した。		・ 人事異動に伴う連絡網の更新が速やかになされない場合がある。連絡網の更新はもとより、情報伝達ルールについては速やかに新任者とも共有する必要がある。	

2. 政策・事業等の企画立案・推進及び職場環境整備			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ ホームページ等を通じて寄せられた意見等については、内容及び重要度等に応じて、局内で情報を共有している。 また、定期的に局内の全課（室）が集まり、各課の業務に		・ 今後も国民からの重要な意見及び各課の業務について、局内で情報の共有に努める。	

ついでの情報交換等を実施している。	
・ 来客者にとってわかりやすい案内の掲示や通路等の整理整頓により、来庁しやすい環境整備に取り組んでいる。	・ 引き続き来客者が来庁しやすい環境整備に取り組む。
・ 森林整備の重要性や木材利用の意義、森林管理局の取組等について理解を得るため、公開講座を実施するとともに、国有林モニター会議や国有林野等所在市町村長連絡協議会等を開催し、国有林野事業に対する意見・要望等の把握することとしている。	・ 各種会議等において、多数の参加者から幅広い意見を頂くために、事前の会議内容の説明、説明資料の工夫、参加しやすい会場・日程設定等を行う。 ・ 地域の皆様から直接意見を伺うことができる貴重な機会であるため、局幹部や関係部署以外の職員が参加し意見交換を行うことも必要である。
・ 事業実行にあたっては、地域の皆様や地元自治体等へ説明が必要な場合は、時期を逸せず対応するよう努めている。	・ 新規に行う事業や、住民の健康面等に配慮が必要な事業については、地元説明会を積極的に行っているが、経常的な事業については、十分行われていない。各種会議等の機会を捉えて事業概要の説明を行う必要がある。

3. リスク管理			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 発注者綱紀保持マニュアルに基づき、入札等の発注事務の適正な実施について、各署への巡回点検を実施し、その検証を行っている。		・ 取りまとめ段階で問題点等があれば、署への指導を行う。	
・ 入札等の事務処理において、複数の職員による十分なチェックに努めている。		・ 引き続き十分なチェックやセキュリティの確保に努める。	
・ 室内に定期的な情報交流の場を設け、職場内でのヒヤリ・ハット事例を共有し業務の改善策等について検討を行っている。		・ これまで数度の意見交換を行ったことから、新たなヒヤリ・ハットの事例の報告が少なくなっている。このため、全省的な事例も参考に自らの業務を検証していくことが必要である。	
・ 事業計画（案）について、担当者以外の職員を交えた検討		・ 担当外の業務については十分な知識がないため、基礎情	

を行い、潜在的なリスクの洗い出しを行っている。 ・担当部署以外の管理者にも文書を回付することで、事前のチェックを強化している。	報の共有に時間を要することから、対象を特に国民目線での対応が求められる事業に絞るなど、効率的に検討を行う。 ・なお、専門的な知識が必要な事案については、積極的に上局と相談することも必要である。
--	---

4. その他の重要な取組			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
・国民に対するサービスの向上のために、四国を代表する石鎚山山頂の様子をホームページに掲載し、試験的にリアルタイムの情報を掲載している。		・限定した掲載であり、国民からの要望等があれば、今後、箇所を増やす等の検討が必要である。	
・定期的なミーティングを行い個々の職員の業務内容を共有することで、職員相互の協力がしやすくなり、業務の平準化に繋がっている。		・今年度より局議後に室内のミーティングを開催することとしたが、毎回全職員が参加することは難しいため、参加出来なかった職員へのフォローも行っていく必要がある。	